

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

CB

(11)Publication number : 10-312413

(43)Date of publication of application : 24.11.1998

(51)Int.Cl.

G06F 17/60

(21)Application number : 09-120416

(71)Applicant : DAINIPPON PRINTING CO LTD

(22)Date of filing : 12.05.1997

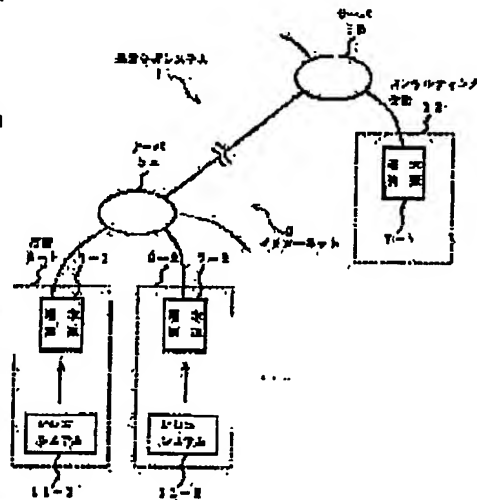
(72)Inventor : TOSA KATSUHIKO

(54) MANAGEMENT ANALYSIS SYSTEM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To facilitate the comparison of management with other companies by sending the sales information via every terminal equipment, producing the management guideline information via a server and reading the management guideline information via every terminal equipment.

SOLUTION: The sales information are sent to a server 5b from the terminal equipments 7-1, 7-2... via an internet 3. That is, a home page is opened at the server 5b for a management analysis system, and every terminal equipment accesses the home page to send the sales information. Thus, the monthly sales information on every commodity, for example, is sent to the server 5b from each of stores 9-1 and 9-2. Meanwhile, the server 5b produces an evaluation table and an evaluation graph based on the received sales information. Then a terminal equipment 7-n of a consulting company 13 accesses the server 5b, and a consultant produces the comments. In such a constitution, the server 5b produces the management guideline information based each sales information and every terminal equipment 7-1, 7-2 reads the management guideline information.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Ref. (4)

(10) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-312413

(43) 公開日 平成10年(1998)11月24日

(51) Int. Cl.
G 0 6 F 17/60

識別記号

F I
G 0 6 F 15/21

Z

審査請求 未請求 請求項の数4 OL (全7頁)

(21) 出願番号 特願平9-120418

(22) 出願日 平成9年(1997)5月12日

(71) 出願人 000002897

大日本印刷株式会社

東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号

(72) 発明者 土佐 勝彦

東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号

大日本印刷株式会社内

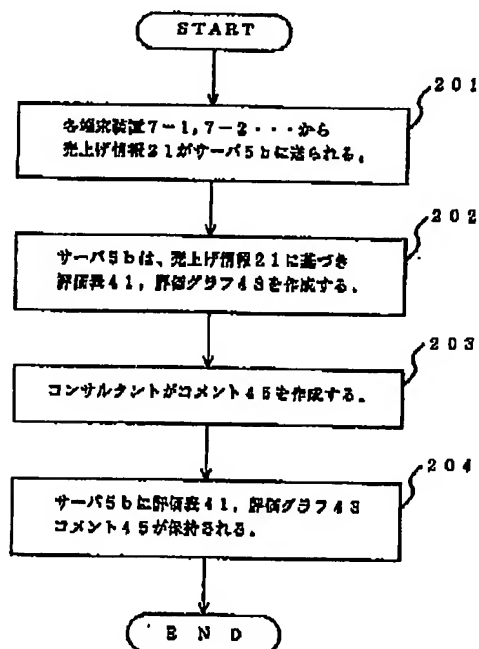
(74) 代理人 弁理士 井上 誠一

(54) 【発明の名称】 経営分析システム

(57) 【要約】

【課題】 他社との比較が容易に行える経営分析システムを提供すること。

【解決手段】 各店舗9-1、9-2、……から月ごとの売上げ情報がサーバ5bに送られ、コンサルティング会社13でこれらの情報を基にして評価表41、評価グラフ43、コメント45等が作成される。各店舗では作成された評価表41等をインターネット3を介して閲覧する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 サーバと複数の端末装置を存するコンピュータネットワークにおいて、

前記複数の端末装置が売上げ情報を送り、

前記サーバ側は、各売上げ情報を基にして経営指針情報を作成し、

前記各端末装置は、前記経営指針情報を読み取ることとを特徴とする経営分析システム。

【請求項2】 前記経営指針情報は、評価表、評価グラフ、およびコメントからなることを特徴とする請求項1記載の経営分析システム。

【請求項3】 前記経営指針情報は、他の端末装置に関する情報を含むことを特徴とする請求項2記載の経営分析システム。

【請求項4】 前記売上げ情報は、POSシステムで得られたものであることを特徴とする請求項1記載の経営分析システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、インターネット等のネットワークを用いて経営分析を行う経営分析システムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、小売店等の商品の売上げ等に関して経営分析を行う場合、経営コンサルタントが各小売店に出向いて経営分析を行ったり、小売店主が自らパーソナルコンピュータの経営分析プログラムを利用して経営分析を行ったりしていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、コンサルタントが各小売店に出向いて経営分析を行うことは労力と時間を要し、また経営分析プログラムで経営分析を行う場合は、他の小売店との比較が行えないという問題があった。本発明は、このような問題に鑑みてなされたもので、その目的とするところは、他社との比較が容易に行える経営分析システムを提供することにある。

【0004】

【課題を解決するための手段】前述した目的を達成するために本発明は、サーバと複数の端末装置を存するコンピュータネットワークにおいて、前記複数の端末装置が売上げ情報を送り、前記サーバ側は、各売上げ情報を基にして経営指針情報を作成し、前記各端末装置は、前記経営指針情報を読み取ることとを特徴とする経営分析システムである。

【0005】

【発明の実施の形態】以下、図面に基づいて本発明の実施の形態を詳細に説明する。図1は、本実施の形態に係る経営分析システム1の概略構成図である。インターネット3はサーバ5a、サーバ5b等が電話回線等で接続されてなり、サーバ5aに端末装置7-1、7-2、…

…が接続され、サーバ5bに端末装置7-nが接続される。端末装置7-1、7-2、…はそれぞれ異なる店舗9-1、9-2、…に備えられる。各店舗9-1、9-2、…にはPOS(Point of Sale)システムが備えられ、売上げ情報等が得られる。

【0006】なお、売上げ情報はPOSシステムではなく、人手で作成され、各端末装置7-1、7-2、…に入力されてもよい。端末装置7-nはコンサルティング会社13に備えられる。コンサルティング会社13では各店舗から送られる売上げ情報を基にして、後述する評価表41や評価グラフ43等を作成する。

【0007】次に、この経営分析システム1の動作について説明する。図2は、この経営分析システム1の動作を示すフローチャートである。まず、各端末装置7-1、7-2から売上げ情報21がインターネット3を介してサーバ5bに送られる(ステップ201)。

【0008】すなわち、サーバ5b上に経営分析システム用のホームページが開設されており、各端末装置7-1、7-2、…はそのホームページにアクセスし、売上げ情報21を送る。

【0009】図3は、売上げ情報21のフォーマット図である。売上げ情報21は客数23、商品情報25-1、25-2、…からなる。この売上げ情報21は例えばPOSシステム11-1、11-2、…から得られた情報である。

【0010】客数23は一定期間内(例えば1か月)に例えば店舗9-1で購買を行った客数である。商品情報25-1は商品名27-1、売上げ点数29-1、売上げ高31-1からなる。商品名は牛乳を例にとれば、その牛乳の商品名である。売上げ点数29-1はその商品の一定期間内(例えば1か月)における売上げ点数であり、売上げ高31-1はその商品の売上げ高である。商品情報25-2は別の牛乳の商品名や売上げ点数を表す。なお、本実施の形態では牛乳に限らずその他の食料品等も扱われ、これらの商品名が商品名27の欄に書き込まれる。

【0011】このようにして、各店舗9-1、9-2から例えば1か月間の各商品の売上げ情報21がサーバ5bに送られる。一方、サーバ5bは売上げ情報21に基づいて評価表41、評価グラフ43を作成し(ステップ202)、コンサルティング会社13の端末装置7-nがサーバ5bにアクセスし、コンサルタントがコメント45を作成する(ステップ203)。

【0012】図4は、コンサルティング会社13で作成される経営指針情報2を示す図であり、経営指針情報としてはP1値、平均単価、金額P1値等がある。コンサルティング会社13ではP1値等の指標を次のようにして計算する。

$P1値 = 売上げ点数 / 客数 \times 100$

$売上げ = P1値 \times 平均単価 \times 客数 = 売上げ点数 \times 平均単$

価

金額PI値(客単価) = PI値 × 平均単価 = 売上げ点数
× 平均単価 / 客数 × (100)

平均単価 = 売上げ / 売上げ点数 = 金額PI値 / PI値

【0013】さらに、PI値、平均単価、金額PI値を基にして月ごとの総合評価35が作成される。総合評価35は6段階の評価であり、「〇〇〇」、「〇〇」、「〇」、「×」、「××」、「×××」で表される。

【0014】図5は、評価表41を示すものである。この評価表は各店舗ごとに作成され、ある店舗が別の店舗の評価表を見ることが出来る。図5は、ある店舗の牛乳の各商品のPI値等を示す。すなわち、商品42は牛乳の商品名である。

【0015】図6は、評価グラフ43を示す。この評価グラフ43では横軸にPI値をとり、縦軸に平均単価をとる。そして、境界線44を作成し、6つの領域45-1、45-2、……、45-6を作成する。領域45-1は前述した6段階評価の「〇〇〇」に相当し、領域45-2は「〇〇」に相当し、領域45-3は「〇」に相当する。同様に領域45-4、45-5、45-6はそれぞれ「×」、「××」、「×××」に相当する。

【0016】そして、このグラフ上に各店舗社の値が表示される。自店舗社は例えば47で表示され、他店舗社は49-1、49-2、…で表示される。

【0017】図7は、このような評価表41や評価グラフ43を検討して、コンサルティング会社13のコンサルタントが作成するコメント45である。また、図8に示すようなある店舗だけの評価表41aや図9に示すある店舗だけの評価グラフ43a、コメント45a、総合評価47aも作成される。

【0018】そして、サーバ5bに評価表41、41a、評価グラフ43、43a、コメント45、45a等が保持される(ステップ204)。

【0019】図10は、各端末装置からサーバ5b上の評価表41等を閲覧するための処理を示すフローチャートである。たとえば、端末装置7-1がサーバ5bにアクセスする(ステップ1001)。すなわち、端末装置7-1でサーバ5b上の経営分析システムのホームページにアクセスし、評価表41、評価グラフ43、コメント45等を閲覧する(ステップ1002)。

【0020】このようにして、端末装置7-1のオペレータは評価表41、評価グラフ43、コメント45を得ることができ、他店舗の評価表等も閲覧することになるので、他店舗との比較を行うことができる。また、図

8、図9に示すように自店舗のみの評価表41aや評価グラフ43aを閲覧することもできる。

【0021】このように、経営分析システム1を用いれば、各店舗9-1、9-2、……ごとの評価表41等がサーバ5bに保持されるので、各店舗9-1、9-2、……は随時、店舗等も考慮された評価表41を得ることができる。また、コンサルティング会社13のコンサルタントが各店舗9-1、9-2、……等を訪問する必要もなくなる。

【0022】また、前述した実施の形態では、売上げ情報はPOSシステムから得られた情報を用いるようにしたが、人手で作成されたような売上げ情報を用いることもできる。さらに本発明は、店舗以外の会社等の経営分析にも用いることができる。

【0023】

【発明の効果】以上、詳細に説明したように本発明によれば、他社との比較が容易に行える経営分析システムを提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 経営分析システム1の概略構成図

【図2】 経営分析システム1の動作を示すフローチャート

【図3】 売上げ情報21のフォーマット図

【図4】 コンサルティング会社13で作成されるPI値等を示す図

【図5】 評価表41を示す図

【図6】 評価グラフ43を示す図

【図7】 コメント45を示す図

【図8】 評価表41aを示す図

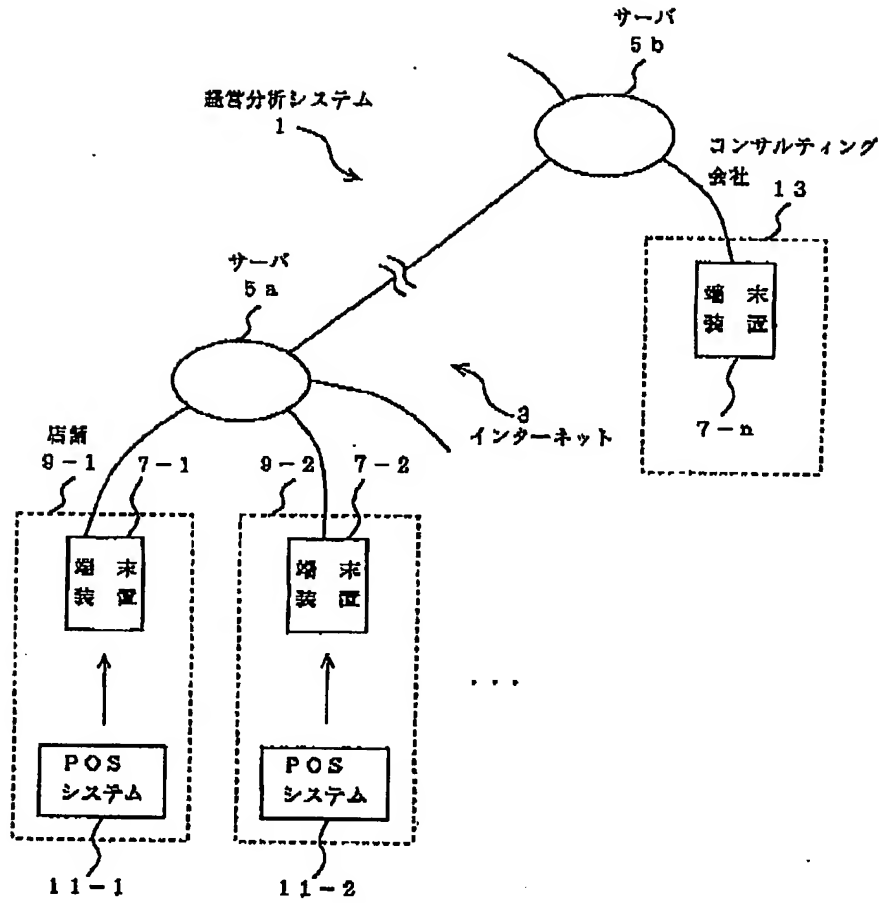
【図9】 評価グラフ43a等を示す図

【図10】 端末装置7から評価表41等を閲覧する際の動作を示すフローチャート

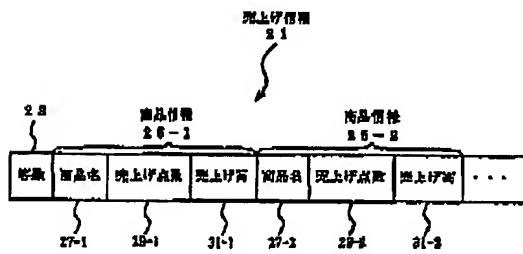
【符号の説明】

- 1……………経営分析システム
- 3……………インターネット
- 5……………サーバ
- 7……………端末装置
- 9……………店舗
- 11……………POSシステム
- 13……………コンサルティング会社
- 21……………売上げ情報
- 41……………評価表
- 43……………評価グラフ
- 45……………コメント

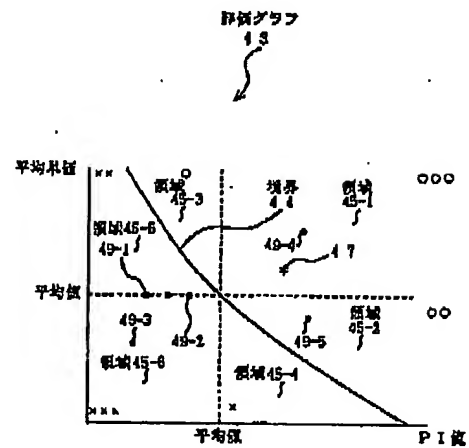
【図1】



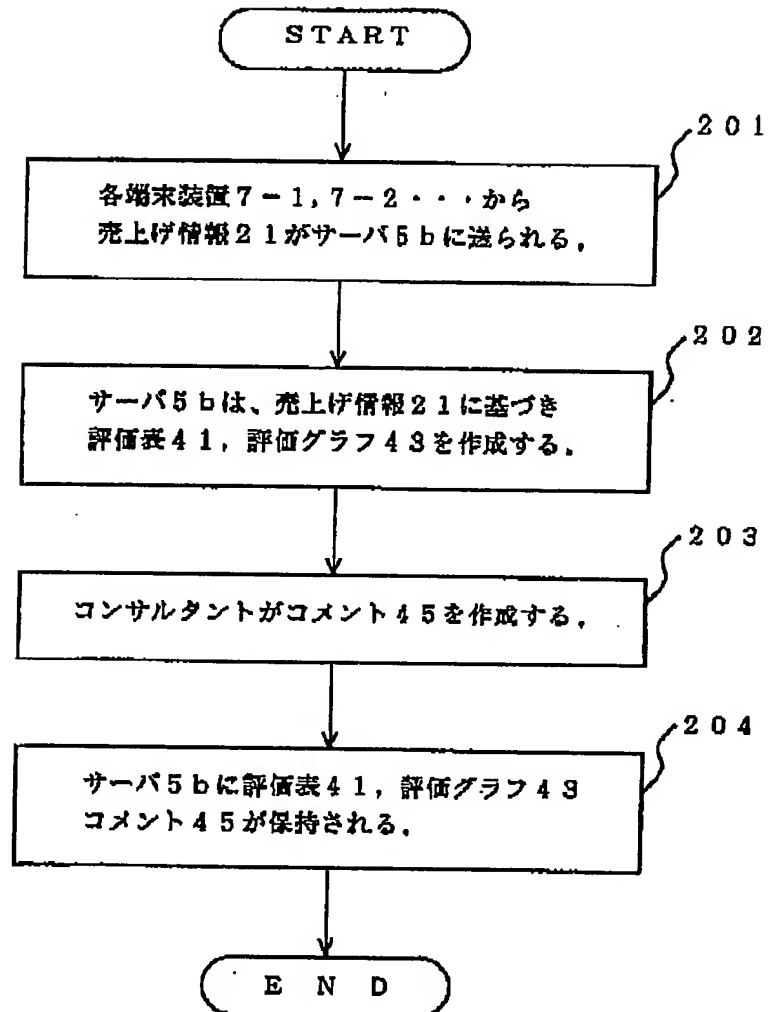
【図3】



【図6】



【図2】



【圖5】

X	M	N		SDM	SOM	ON I						D I
Y	M	N		SDM	SOM	ON I	186.7	186.7	1	10	69	D I
Z	M	N	R R	SDM	SOM	ON I	178.5	185.0	2	48	364	O 2

部別名	合計	PI係	平均単価	金額PI係
01		10.51%	181.9	28.34
02		9.75%	181.2	17.74
03		1.75%	192.3	3.31
04		1.43%	183.0	2.64
05		1.21%	161.3	1.95
18				
19		0.05%	258.0	0.13
20		0.05%	146.0	0.07

【圖 8】

2月版の牛乳フォーラムの寸評

今月は約10家社からアクセスをいただきました。PIGBホームページも読後日7日以上のアクセスをいただき、徐々に認知度も上がり、いよいよ広告の取牌に入ってきたといえます。今月からチャットコーナーでも、牛乳の知識、ノウハウを蓄積する体制でもなりました。大いに、今月のPIGB最前線の情報は85%、素

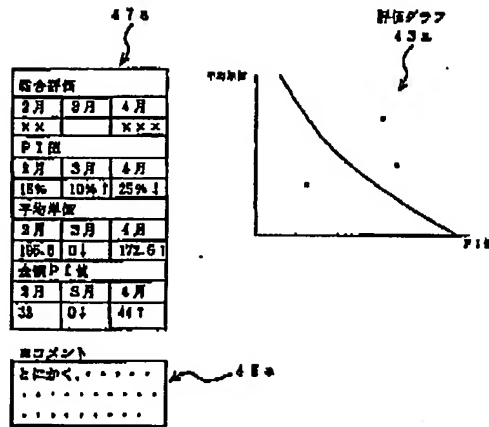
1月牛乳フォーラム寸評
牛乳フォーラムは業界にのりつつあり、今月はおよそ1割増が参加して
います。その中でも、牛乳フォーラムはじまって以来、異変があるとはい
えず1割増です。全乳PI値もPI値を減らす段階があります。加予、特
殊案件の中での販売ですが、この値中は非常に高いものです。しかも、
値上げしています。値上げの品は、すな

野田組
41号

店名 A店

商品名	合計	P I 率	平均率	全額P I 率
01		11.06 %	175.8	20.50
02		2.53 %	197.8	5.30
03		1.95 %	199.1	3.91
04		1.21 %	185.9	2.36
05		1.32 %	198.8	2.61
24				
25		0.05 %	79.2	0.05
26		0.05 %	159.8	0.04

【図9】



【図10】

